



第 3019 回例会/No.16 2016 年 10 月 25 日

◆例会プログラム

1. 開会点鐘
2. ロータリーソング斉唱
3. 四つのテスト
4. 会長の時間
5. ラットランド訪問卓話(立花 徳久君)
6. 幹事および委員会報告
7. 出席報告
8. ニコニコボックス
9. 閉会点鐘

◆幹事報告

- ・11/18(金) 姉妹地区(第 3640 地区) 歓迎会開催のご案内
ガバナー事務所

◆第 3018 (10/18) 例会の概要

■四つのテスト 滝田 吉郎 君
(親睦委員 飯塚正彦君)



■会長の時間「14 回/46 回」 吉田 和洋 君

みなさまこんにちは! 本日は、ラットランドへ行かれて
いる会員の方もいらっしゃる他、ご多用の方が多いので、
少人数での例会です。よろしくお願いいたします



昨日は、商工会議所
会員大会 東和で
した。佐々長醸造さ
んの工場を見学さ
せていただきました

みそ・醤油の製造
工程や、醸造段階
ではベーターヴェ
ンの田園を味噌に

かせ醸造していることや、販売先の要望に合わせて味付けを
調整し様々な製品を送り出していることや最近では様々な
新製品を生み出していること等の説明を受けました。

その後、会場へ移動し、会員大会となりました。支所の方
々、女性会や青年部の方々、東和の飲食業の方々のご尽力・
準備による設営でおもてなしをいただきました。

アトラクションでは、スコップ三味線など思考を凝らした
ものが披露されました。
抽選会は残念ながら、当選しませんでした。にぎやかで
楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

空港へ設置いただける花巻ロータリーの歓迎レリーフの
おおよそのデザインが出来上がり、理事会でもご承認を
いただきました。文字配置等微調整はありますが、ロータ
リーカラーを駆使し、歓迎を表現しております。

現在菊忠印刷さまで、実寸大のサンプル印刷を始める
ところです。設置セレモニーについては、今後空港 TB 様と
打ち合わせて参りたいと思います。できれば秋のインバ
ウンド便に合わせ設置できればと思っております。

空港への花植えプランター設置については、共同作業
してくれる先を探しながら、植えるお花や時期を決めて
たいと思います。イメージでは、「わたぼうし」さんや「る
んびにー」さんが宜しいのではと考えておりますが、実
施に向け、菊の会さんや各方面へご相談してまいります。

メキシコの吉井様よりご提案いただいております、メ
キシコ移民団の花巻出身の照井亮二郎を描いた漫画の
寄贈につきまして、理事会でご承認いただきました。

教育委員会と贈呈方法等今後打合せし、市内小中 30
校・各支所等へとして、40 冊を寄贈したいと思いま
す。

その他、花巻ロータリーカップ小学生親善バレーボ
ール大会横断幕もご承認いただきました。デザインを再
校正中です。その際にもロータリーの公共イメージア
ップにつながるよう努めてまいりたいと思いま
す。

皆様のご協力をお願いいたします。
さて、本日は、会員卓話今年度 第 2 回 浅沼幸二君
です。よろしくお願いいたします。

◆会員卓話

浅沼 幸二君

プログラム委員長から 4 月 18 日に卓話お願いしま
すと言われ、「引き受けた以上はやらざるを得ない」とこ
こに立っております。

昨日は商工会議所の会員大会で東和町にお越し
いただきまして、有難うございました。



19 時くらいに中締めにな
って、行きつけの飲み
屋にフラフラと歩いて
行ったら、全部閉ま
ってるんですね。駆
り出されて後片付け
が終わらないうち
に帰れないと
のこと。何だよ、せ
っかく花巻・石鳥
谷・大迫から来て
るのに…二次

会も出来ないのか…とちょっと悲しい思いも
しながら家に帰って、酒が足りない
ので飲みたいなと思っても「ダメ!」
という事で(笑)、録画してた
テレビをみてましたら、日本
のワインが世界に高い評価
を得るようになったという
番組をゆっくり観ることも
出来ましたし、大好きだ
った内藤やす子が脳溢血
から復帰して歌い出した
という内藤やす子特集
を観たりして、のんびり
と過ごすことが出来
ました。

今日は卓話という事で、
題を設けなくて最近
自分がちょっと感じた
ことをお話しして卓
話で代えたいと思
います。

10 月 1 日に国体が
始まりまして、1 日
の夜、たまたま私
は駅前の居酒屋の
カウンターで一人
晩酌をしていま
した。そこは表
側が食堂で裏側
が居酒屋の店。

そこに中年の男二人が顔
出して、「ここお酒飲
めるの?」ママが「イ
イですよ」って入
店し「まず焼酎一
本戴くかな? 四合
ピンくらいある
でしょ。」って言
われてママさんが
出てきたのが黒霧
島。そしたら「い
や、これなら自
分の県でも飲め
るから、地元
の焼酎を出して
買えませんか」
って…背中越し
に聞いていると、
ママさん「どぎ
まぎ」してる。
さあ、どうする
のかなと思って
いたら、「ご免な
さい。花巻の
焼酎はあるに
はああるけど、
普段、飲み屋
に置けないよ
う

な高いのしかないんです。」「それじゃあ困ったなあ。どうしたら良いんだろう」となった。

その人たちは、新幹線で来て、北上で在来線に乗り換えて花巻駅に着いた。出身は長崎。次の日、国体のバレーボールで優勝旗返還しに来たバレーボール協会の偉い人。

ママさんも困って「社長、なんじよしたら？」って聞いてきた。「まあ、地元のを食いたくて来てるんだから、カウンターに座るお客さんが普段飲んでる「もっきり」とちょこっとしたつまみを店さお任せで如何です？ってしてみたら」って言ったら、「もっきりって何ですか？」となった。「一升瓶に入ってる普通酒を皿付の一合グラスに並々に溢れるくらい注いだもので、『盛り切り』から変じたもの。熱くして飲む人もそのまま飲む人も居ますよ」って出した。

ぐっと飲んだ瞬間、「この酒、美味しい！」となった。確か菊の司の普通酒か何か。「私はこういうのが好きで、純米酒とか大吟醸とかは料理には合わないと思うんですよ。」とか話しながら飲んでました。

そこに「ミズの実」がつまみに出て来た。「何ですかこれ、このこぶの付いた緑の物は？」「この辺でミズという実をボイルしたものですよ」って食べたら驚愕の顔！初めて食べる山菜の味！「これは珍しい。私はこう言うのを食べたかったんですよ。何故か駅前には大手チェーンの居酒屋が軒を並べ、ギラギラと看板を光らせてますけど、本当の酒飲み達って言うのは路地に入った処とか狙って歩いている。ここは“当り”ました。」という話をしてくれました。

次に私が豆腐半丁に葱と鰹節かけたので飲んでるのを見て、「豆腐を肴に飲むんですね？」って。岩手県は豆腐の消費量 No.1 に近いけど、向こうは鍋には入って来ても、そういう食べ方しないのか、注文して「豆の甘味が非常に強い！」とこれもビックリされたんです。「焼き鳥だもツ煮だそういうもの出してくれないけど、本当はこういうのを食べてみたかった。については明後日帰るけど、明日来てもいいか？また何か変わったものあるか？」って「どうぞ、どうぞ」となって私も安心したんですけど・・・。

実は国体、国体って騒いでる割には地元の飲食店は来たお客さんにサービスするために何をくわせるか、花巻の名物は何だ？今、10月に入って何を出したら喜んでくれるか？という事を全く考えてないような感じがしたんですね。たった一軒の話でどうなっているか分からない部分もあるんですが、北上辺りでは国体で来た選手や役員の為に店を低料金で開放して、ライブか何かもやってみたいですが、県外のお客さんなかなか来なくて、県内の選手・役員しか来てくれなかったそうです。来て泊まる以上、もうちょっとお金を落として貰える工夫をした方が良いんじゃないかと思った次第です。

帰り際に花巻でお土産って何買ったら良いか聞かれました。皆さんなんだと思います？悩みますよね。仙台の萩の月のようなものがない。「わんこそばセットとかが良いでしょうか」と聞かれましたが、わんこそばは吹張とか以外では普段食べない。金婚漬は余りにも塩っぱくて・・・。

新聞なんかに美味しい干し葡萄ができたとか、呑兵衛漬とか聞きますけど、小さすぎたり、家族や職場の為のお菓子となると、南部煎餅…はて花巻か？私も50年以上ここにいて何をお土産に持って行ったかというとりんご持って行ってもお菓子は無い。近所の会社にはケーキや小麦饅頭はあっても。「じゃあ、長崎はカステラ食べないでしょう」と言うのと、違うんです。カステラ大好きで普段から食べるし、聞いてくれればガイドブックに載ってない美味しいカステラの店を教えるんですけど。

何故奥ゆかしいんだろうという話になって、もっと自慢していいじゃない。こんな美味しい酒を300円位で飲めて、こんなに美味しい豆腐を毎日のように食べられる。ミズだってキノコだってある。もっと岩手県の人々が自信を持って自分たちの事をアピールしても良いんじゃないのという言葉を頂きまして、確かにその通りだよなあ。

よくよく考えると普通に食べてる米とかリンゴとかブド

ウ、お酒もワインも美味しい。けどお土産に持っていくものとなると何もない。商工会議所の商業部会の方でもっとポピュラーになるお菓子をお願いします。地元でもらって嬉しいし、お土産でも嬉しいものをお願いします。

秋田、青森の人は本当にアピールする。秋田で県外の日本酒見たことない。ところが花巻の居酒屋には県外の高い酒が誇らしげにカウンターに並んでいる。見栄張る人達は2000円出して飲むけど、毎日飲む酒ではない。花巻から発信して岩手県内の酒しか置かない、みんなでそれを飲んでんだという形にした方が、地方の色が出し易いのかなど。南部美人しか飲まない南部さんのように自分たちの地元の物を使う、地元の物を食するという事が少しずつ広がって行けばいいなあと思った10月1日の長崎の人との出会いでした。

何故か、岩手県の人言葉も標準語に近いし、奥ゆかしいしというのを考えていくと戊辰戦争の負け組というのが非常に強いのかなど。佐竹とか津軽、新潟の藩の人達、先を見る人たちと忠誠を尽くす会津のような負け組は自分の出生を明かさないようにして生きてきた。一方で秋田は全く意に介さない。地域地域で違いがあるんだと感じます。

国体、会場は人が多いけど町の中はシンとしている。もっともっと市内も散策してもらえようであれば良かったなと思います。

最後にその長崎の人が、「明日、釜石に行って被災地みて南三陸鉄道で回ってくるのは大丈夫ですかね？」と聞いてきたので無理！と言っておきました。四国四県分の広さは分かってないんですね。それなら花巻市内を散策して欲しい、例えば賢治記念館に行くのに1500円のタクシーを駅出すとかサービス体制を整えたいいなと思った国体でした。

◆出席報告////////

32人中 6人の出席
出席率 23.0% 前回修正 57.6%
メーカーキャップ なし

◆ニコニコボックス

◇吉田 和洋君『浅沼さん会員卓話ありがとうございました。少ない人数でしたが、充実しました。前回、8年バッチありがとうございました。』

◇稲田 典之君『10月17日、大槌町の小鮎神社で東日本大震災復興祈願祭があり、参列してきました。神社音楽協会による神楽舞の奉納があり、雅（みやび）の世界に浸ってきました。』

◆第3018例会メニュー



『赤魚のみぞれ煮』

◆今後のプログラム

11/1 (火) 休会
11/8 (火) クラブフォーラム「0-列-財団月間」 (伊藤委員長)
11/15 (火) 会員卓話 (菊池 倫美君)
11/22 (火) 地区大会報告

※11/20(日) 第2520地区『地区大会』(大船渡)！！

クラブ会報委員会

委員長：橋川秀治(今回担当)、副委員長：佐藤誠吾
委員：多田浩二、前田 毅 AD：鹿討康弘